

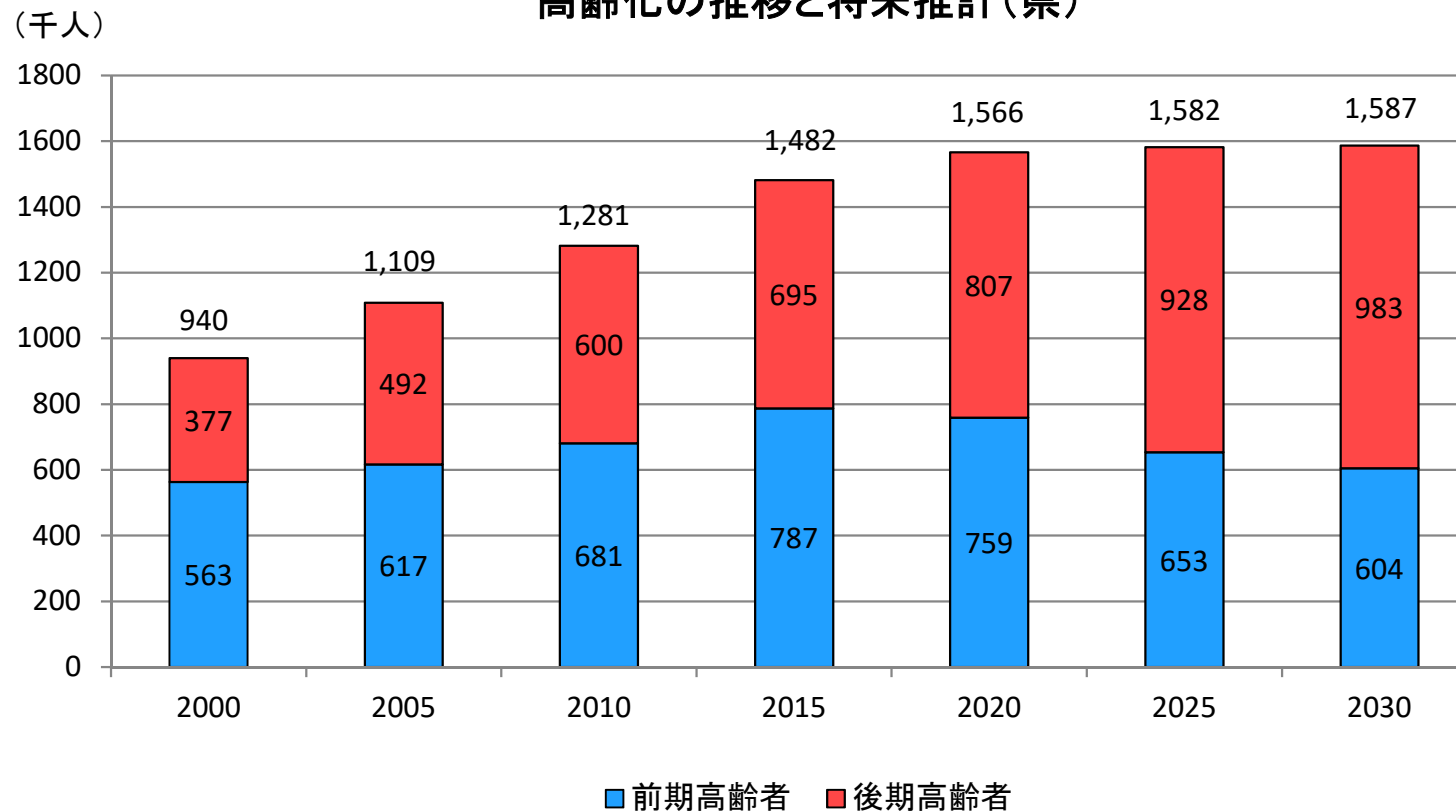
**中播磨新地域ビジョン検討委員会
第 2 回暮らし部会
基礎資料 2**

健康づくり・地域福祉

高齢者人口

- 県内の高齢者人口（65歳以上）は、2015年から2030年にかけて10万人増加する見込み
- 65～74歳（前期高齢者）人口は18万人減少。75歳以上（後期高齢者）人口は29万人増加

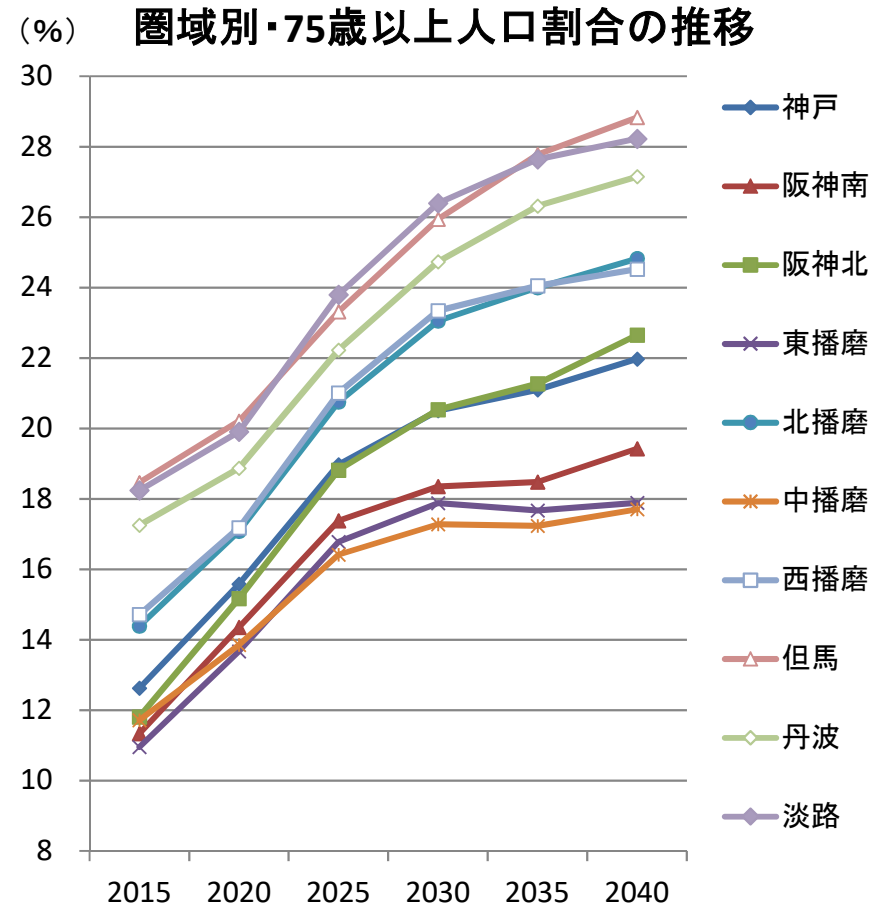
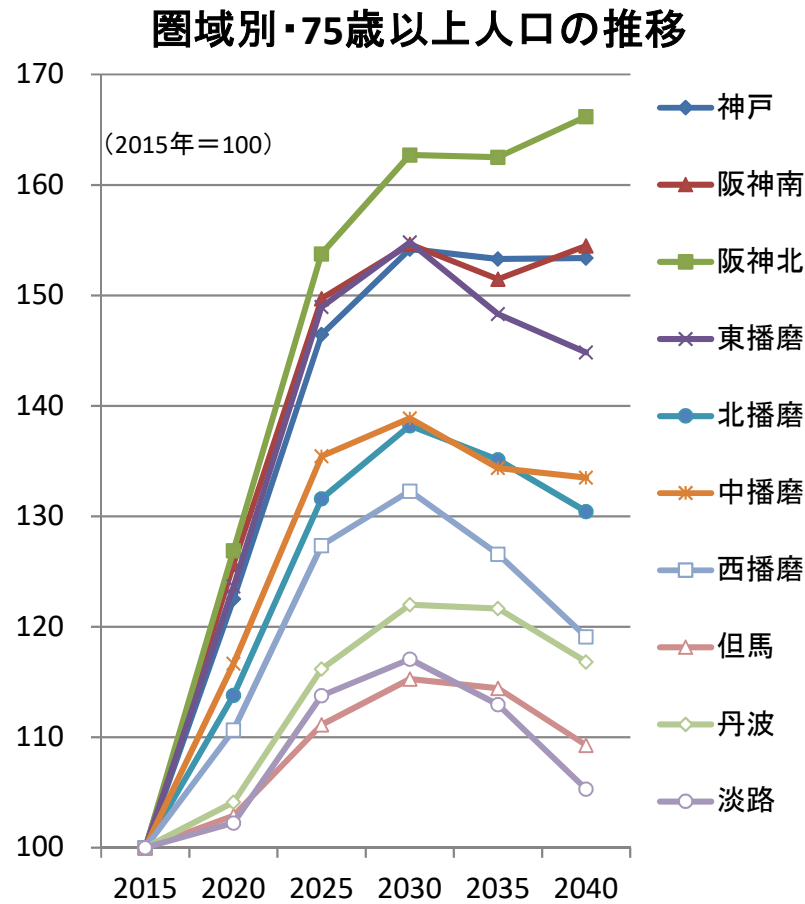
高齢化の推移と将来推計(県)



出典 2015年まで総務省「国勢調査」(2015)、2020年以降は「兵庫県地域創生戦略」(2016)

75歳以上人口（圏域別）

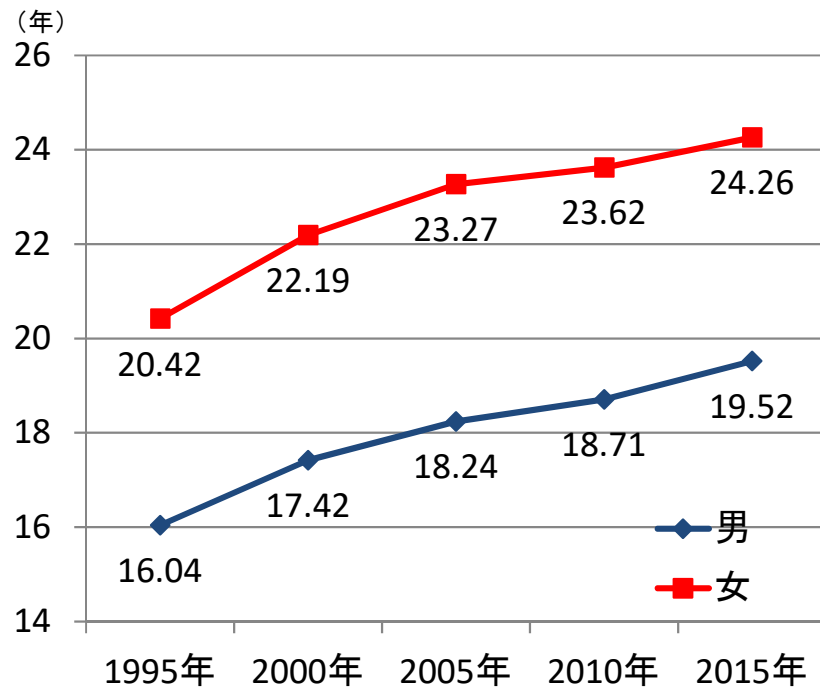
- 2030年に、多くの圏域で75歳以上人口がピーク
- 2040年には、但馬、丹波、淡路で75歳以上が人口の4分の1を上回る。



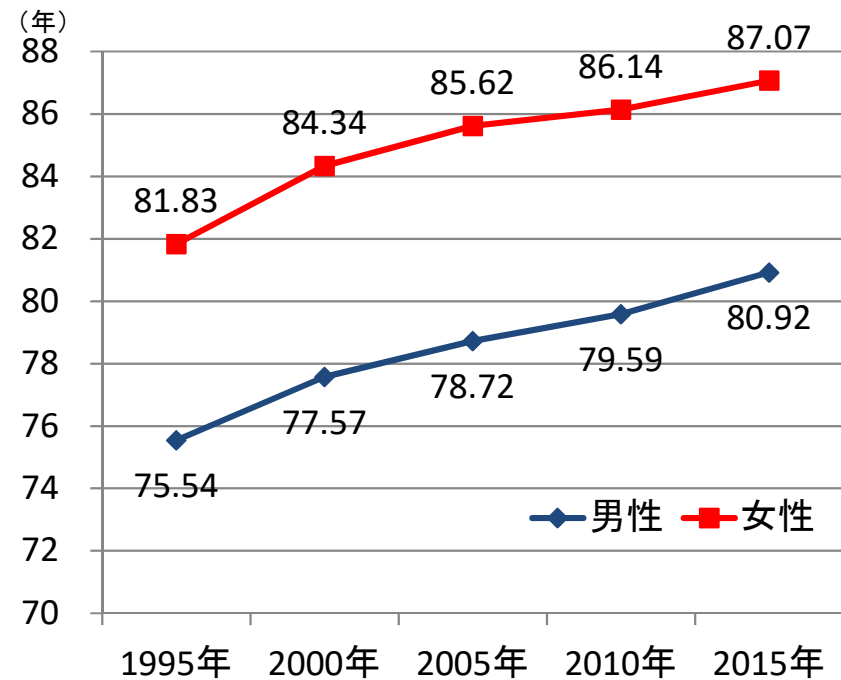
平均余命と平均寿命

○ 県の平均余命（65歳時点）および平均寿命は男女とも着実に伸長。将来的にもその傾向は続く見込み

65歳時点平均余命の推移(県)



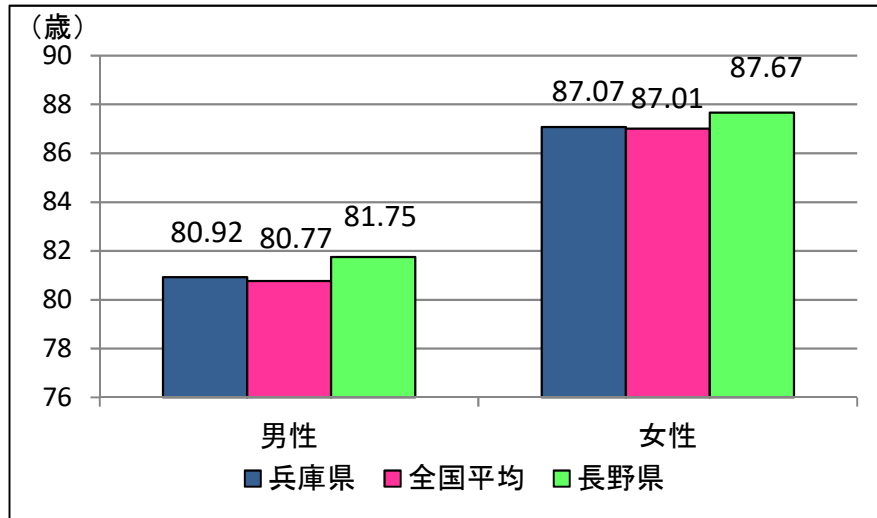
男女別平均寿命の推移(県)



出典 厚生労働省「都道府県別生命表」(2017)

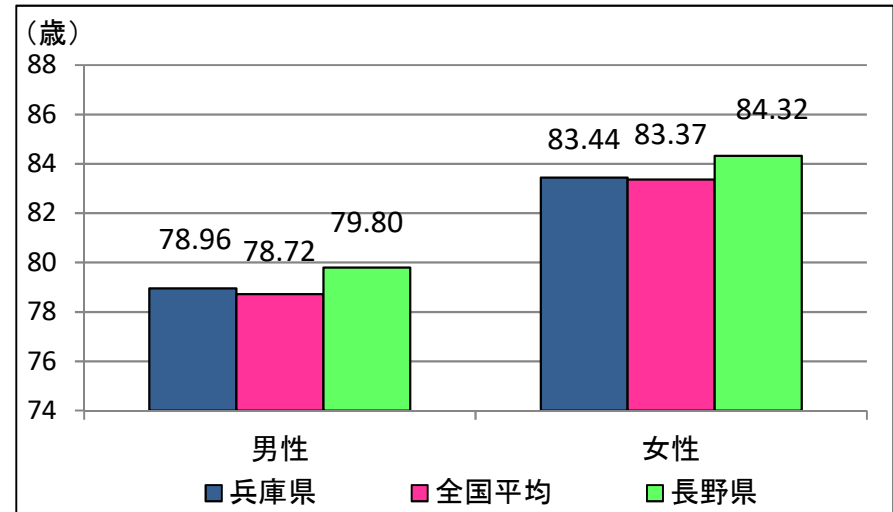
健康寿命

平均寿命(平成27年 県・全国・長野県比較)



出典 厚生労働省「都道府県別生命表」(2017)

健康寿命(平成25年 県・全国・長野県比較)
(日常生活動作が自立している期間の平均)



出典 厚生労働科学研究班
「健康日本21(第二次)の推進に関する研究」(2015)

圏域別健康寿命(県)

(歳)

	全県	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路
男性	79.62	79.62	79.63	81.03	79.43	79.85	78.84	78.85	78.96	79.22	78.79
女性	83.96	83.93	83.93	84.60	83.74	84.13	83.55	83.49	84.51	84.20	83.87

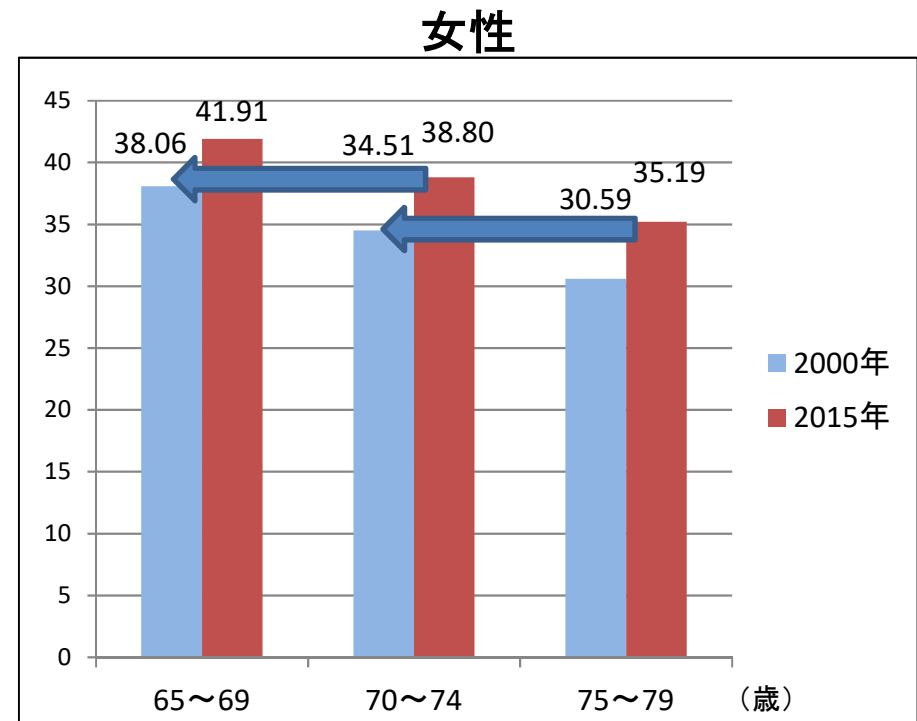
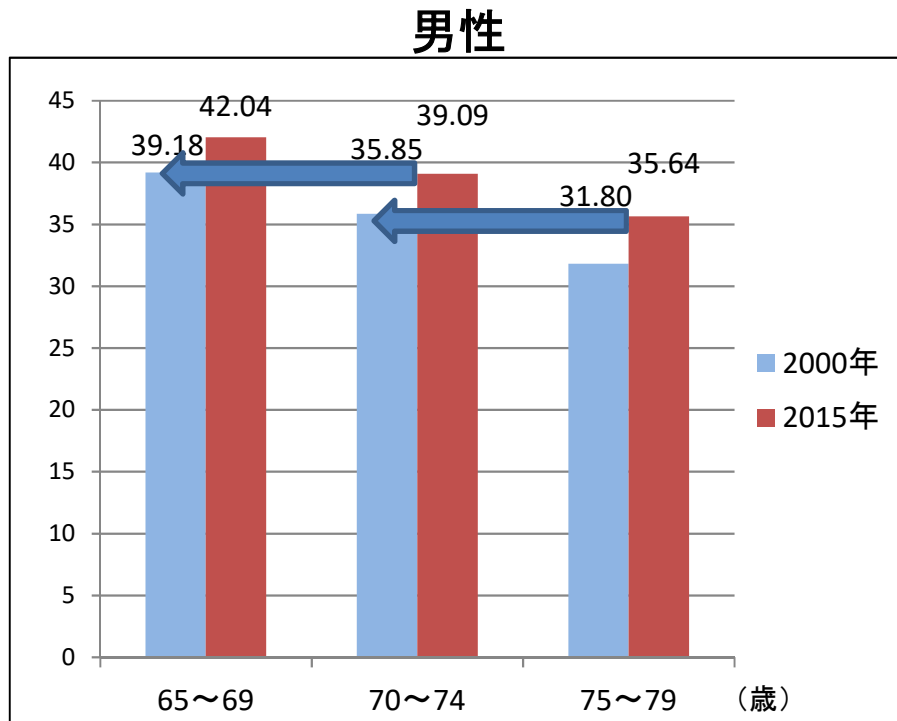
出典 「健康寿命算定結果」(2015)

- 健康寿命は全国で最も長い長野県に比べ約1年短い。
- 圏域別では、阪神北が男女ともに最も長い。

高齢者の体力

○ 高齢者の体力は、15年で5歳程度若返っている。

新体力テスト合計点の推移(全国)



在宅医療需要

○ 2025年の県内の在宅医療需要は、2013年の約1.6倍となる見込み

居宅等における医療の必要量(在宅医療)

圏域	2013年の 医療需要 (人/日)	2025年の 医療需要 (人/日)	2025/2013 増加率
神戸	16,765	26,547	58%
阪神南	10,722	17,836	66%
阪神北	5,832	11,554	98%
東播磨	4,509	7,844	74%
北播磨	2,308	3,057	32%
中播磨	4,140	6,031	46%
西播磨	2,312	2,939	27%
但馬	1,917	2,167	13%
丹波	1,063	1,402	32%
淡路	1,474	1,881	28%
合計	51,040	81,257	59%

表注

1 推計ツールによる2025年の居宅等医療需要は、次の値の合計で推計される。

- ①訪問診療を受けることが見込まれる患者数
- ②介護老人保健施設サービス受給が見込まれる患者数
- ③一般病床の入院患者で医療資源投入量が175点未満の患者数
- ④療養病床の入院患者で医療区分1の患者数の70%
- ⑤療養病床の入院患者のうち入院受療率の地域差解消分

2 在宅医療は在宅で行われることから、病床の推計方法と関係なく、推計ツールにより患者住所地ベースで推計

必要病床数

○ 2025年には県内で「回復期」の病床が約1万床不足、「急性期」は約8千床過剰の見込み

県内の2025年の必要病床数(推計) ※()内の数字は2016年との比較

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
県全域	5,901 (165)	18,257 (8,084)	16,532 (-10,329)	11,765 (2,141)	52,455 (61)
神戸	2,074 (427)	5,910 (1,647)	5,032 (-3,218)	2,631 (321)	15,647 (-823)
阪神南	1,279 (630)	3,468 (461)	2,859 (-1,973)	1,664 (507)	9,270 (-375)
阪神北	497 (-264)	1,890 (1,215)	1,718 (-898)	2,465 (208)	6,570 (261)
東播磨	730 (-308)	2,229 (1,439)	2,115 (-1,513)	1,380 (147)	6,454 (-235)
北播磨	234 (-88)	988 (556)	889 (-384)	1,257 (145)	3,368 (229)
中播磨	658 (-50)	1,959 (988)	1,901 (-1,121)	752 (321)	5,270 (138)
西播磨	145 (-21)	708 (770)	900 (-578)	468 (221)	2,221 (392)
但馬	133 (-109)	541 (372)	476 (-278)	250 (-56)	1,400 (-71)
丹波	52 (-48)	236 (378)	204 (-160)	339 (93)	831 (263)
淡路	99 (-4)	328 (258)	438 (-206)	559 (234)	1,424 (282)

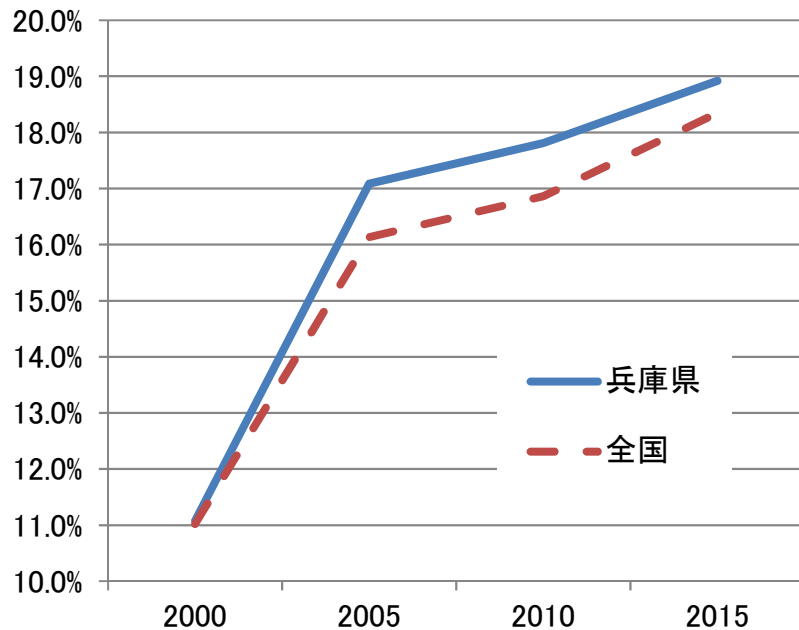
※都道府県間、圏域間の患者流動を反映した場合の推計

- 高度急性期機能…急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能
- 急性期機能…急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
- 回復期機能…急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能
特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能(回復期リハビリテーション)
- 慢性期機能…長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能
長期にわたり療養が必要な重度の障害(重度の意識障害者を含む)、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能

要介護認定者数

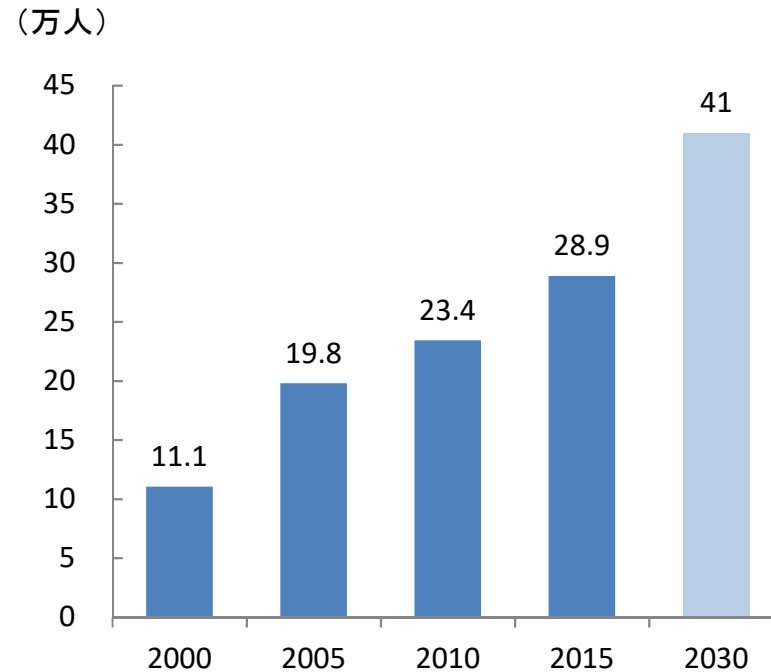
○ 後期高齢者人口の増加に伴い、要介護等認定者数は2030年には約41万人(2015年比+42%)に増加見込み

要介護認定率の推移(県・全国平均)



出典 厚生労働省「介護保険事業状況報告」(2017)

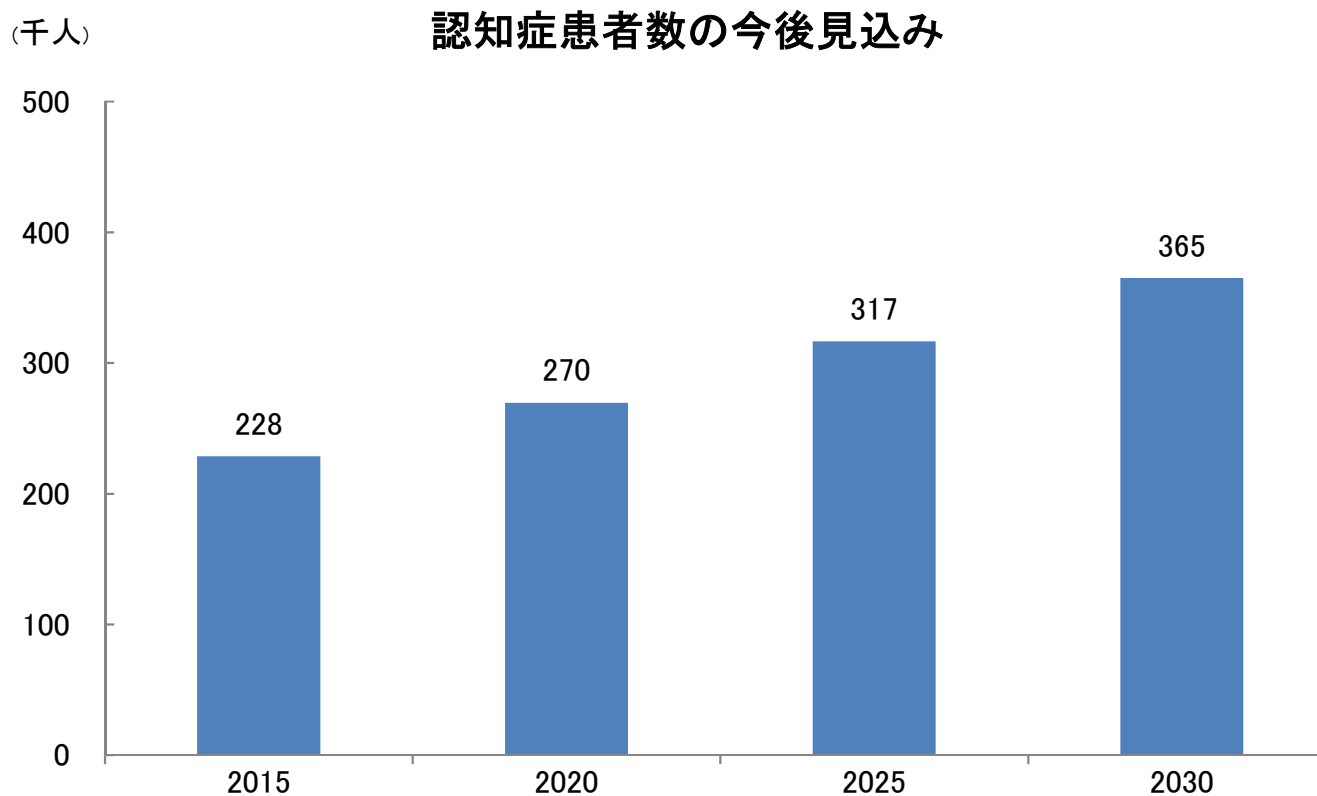
要介護等認定者数の推移及び見込み(県)



出典 厚生労働省「介護保険事業状況報告」(2017)
2030年はビジョン課推計

認知症患者数

○ 認知症患者数は2030年には365千人(2015年比+66%)と大幅に増加見込み



出典 「兵庫県地域創生戦略」(2016)、厚生労働省「厚生労働科学研究費補助金 日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究総括研究報告書」(2014)を基にビジョン課作成

介護人材の需要見込み（全県）

- 後期高齢者人口の増加に伴い、介護人材の需要は2025年には約20万人（2015年比+36%）に増加見込み

介護人材の需要見込み（兵庫県）

区 分	平成27(2015)年度	平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成32(2020)年度	平成37(2025)年度
介護職員	84,700人	86,500人	88,300人	97,700人	111,500人
看護職員	15,400人	15,600人	15,700人	17,700人	21,000人
介護その他職員	42,500人	44,600人	46,700人	53,300人	61,600人
合計	142,600人	146,700人	150,700人	168,700人	194,100人

※厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」（平成27年度）を基に算出した介護サービス別の利用者当たりの介護職員数と各市町が見込む介護サービス利用者数から推計

※介護職員：介護保険施設・事業所に勤務する介護職員及び訪問介護員

看護職員：介護保険施設・事業所に勤務する保健師、助産師、看護師、准看護師

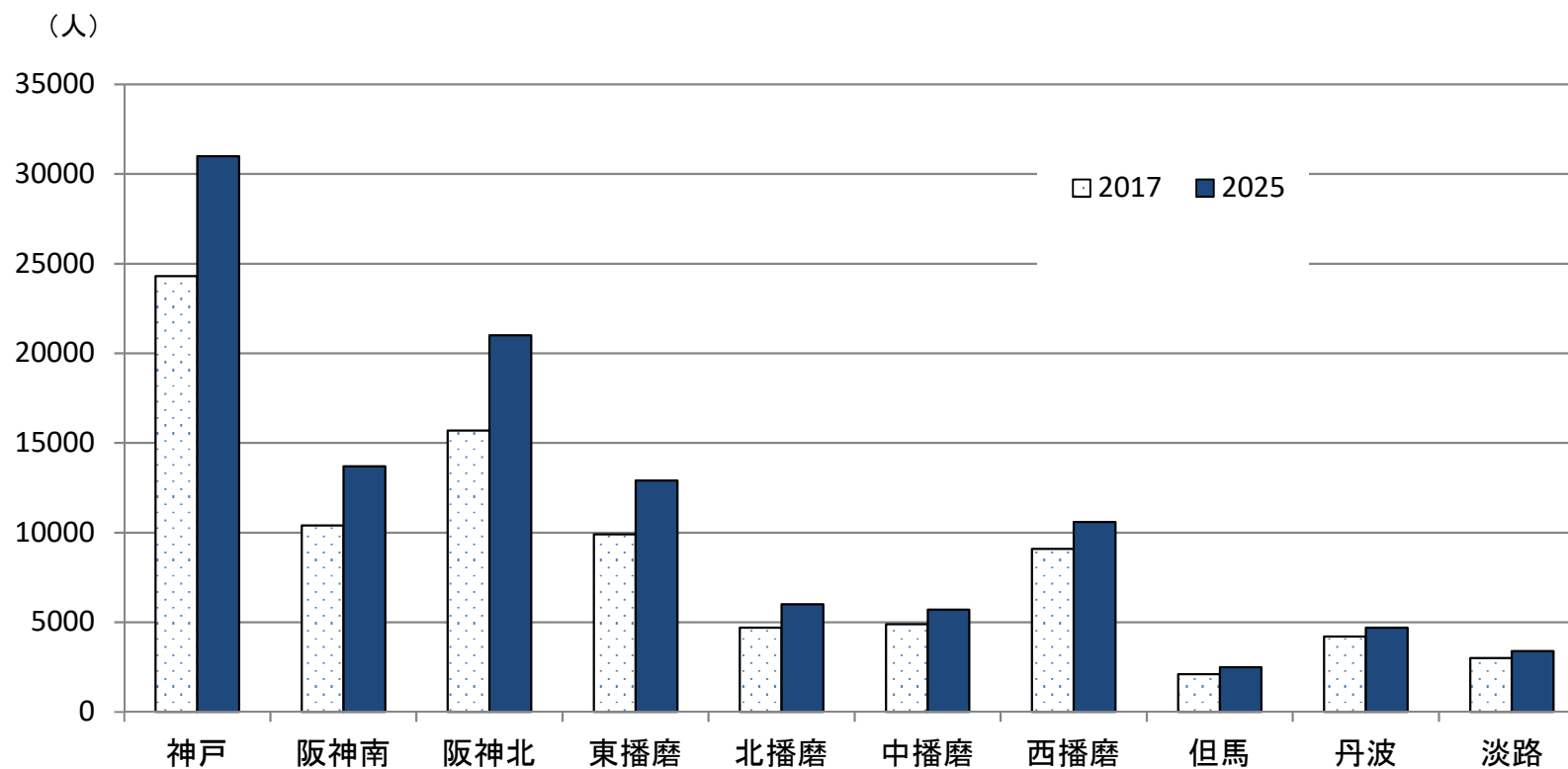
介護その他職員：介護保険施設・事業所に勤務する、相談員、介護支援専門員、PT/OT 等

出典 「兵庫県老人福祉計画」(2018)

介護人材の需要見込み（圏域別）

○ 後期高齢者人口が急激に増加する都市部において、介護職員需要の増加が顕著

圏域別介護職員の需要見込み



出典 「兵庫県老人福祉計画」(2018)

介護施設等

○ 高齢者の急増に伴い介護施設等が不足。不足の度合いは圏域によって異なる。

介護施設等の状況

圏域	定員総数(床) (注)	75歳以上人口 (2015)	1000人当 たり	75歳以上人口 (2030)	1000人当 たり	1000人当 り床数の増 減(2015→ 2030)
神戸市	24,087	194,052	124	299,219	80	▲ 44
阪神南	12,121	117,362	103	181,464	67	▲ 36
阪神北	10,310	85,230	121	138,667	74	▲ 47
東播磨	7,370	78,478	94	121,480	61	▲ 33
北播磨	3,710	39,198	95	54,172	68	▲ 26
中播磨	7,189	67,865	106	94,245	76	▲ 30
西播磨	3,857	38,293	101	50,657	76	▲ 25
但馬	2,713	31,430	86	36,228	75	▲ 11
丹波	1,624	18,311	89	22,339	73	▲ 16
淡路	2,835	24,650	115	28,858	98	▲ 17

(注)介護保険施設、老人福祉施設、有料老人ホーム、サ高住の合計

出典 高齢政策課調べ
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(2018)

中播磨地域の医療体制

- 県立姫路循環器病センター、製鉄記念広畑病院等により第一次、第二次、第三次救急医療体制が整備
- がん医療水準の向上を図るため、姫路赤十字病院、姫路医療センターががん診療連携拠点病院に指定。また、大規模災害に対応するため、県立姫路循環器病センター、姫路赤十字病院、姫路医療センターが災害拠点病院に指定
- 播磨姫路圏域において安定的、継続的に良質な医療を提供するため、県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院を統合再編し、令和4年に県立はりま姫路総合医療センター（仮称）が開設される予定

【兵庫県・中播磨地域の病床数】

区 分		兵庫県 (床)	人口10万対 (床)	播磨姫路圏域 (中播磨地域) (床)	人口10万対 (床)
既存 病床 数	一 般	53,032	975.0	5,509	967.2
	精 神	11,564	212.6	1,296	227.5
	結 核	150	2.8	0	0
	感 染	54	1.0	6	1.1
	計	64,800	1,191.4	6,811	1,195.8

中播磨地域の高齢化率

○ 中播磨地域の高齢化率は27.3%（令和2年2月1日現在）で、県下平均（28.7%）より若干低いが、地域内において差が生じている。

【兵庫県・中播磨地域の高齢化率等】

区分	兵庫県	中播磨	備考
65歳以上人口	1,567,339人	156,206人	
高齢化率	28.7%	27.3%	高齢化率 ・最高 市川町 38.1% ・最低 姫路市 26.9%
要支援・要介護認定者数	312,047人	34,100人	
ひとり暮らし老人	286,374人	25,664人	
老人クラブ会員	274,426人	55,385人	加入率 全県14.8%、中播磨29.9% (平成31年4月1日現在)
養護老人ホーム	42か所	4か所 (うち姫路市3所)	公立2 社会福祉法人2 (令和2年3月31日現在)
特別養護老人ホーム	443か所	55か所 (うち姫路市49所)	社会福祉法人55 (令和2年3月31日現在)

(注)1 65歳以上人口等は、市町からの報告に基づく健康福祉部情報事務センター資料

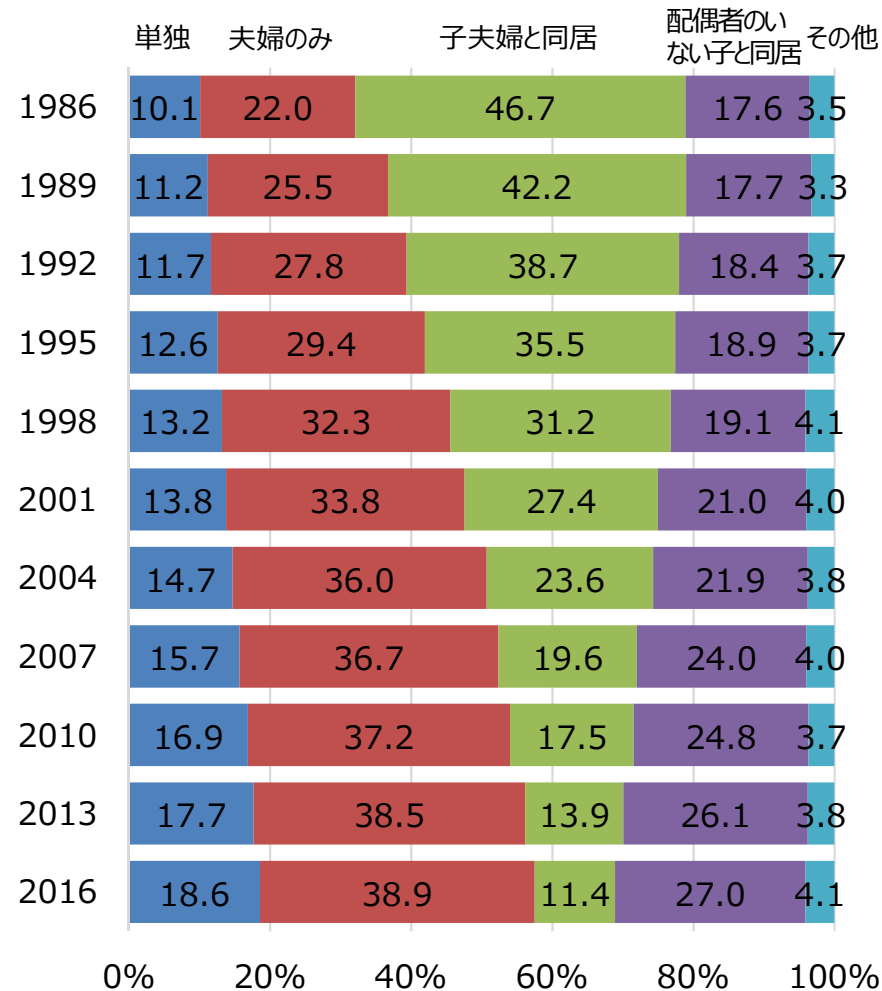
2 ひとり暮らし老人数は、平成27年度国勢調査による数

3 老人クラブは60歳以上が対象であり、加入率は60歳以上人口に占める会員数の比率

高齢世帯の変化（平成の30年間の変化）

○ 65歳以上世帯では、単独・夫婦のみ世帯の割合が約1.8倍に。一方、子夫婦と同居は1/3に減少。“シングル介護”が懸念される配偶者のいない子との同居は5割増

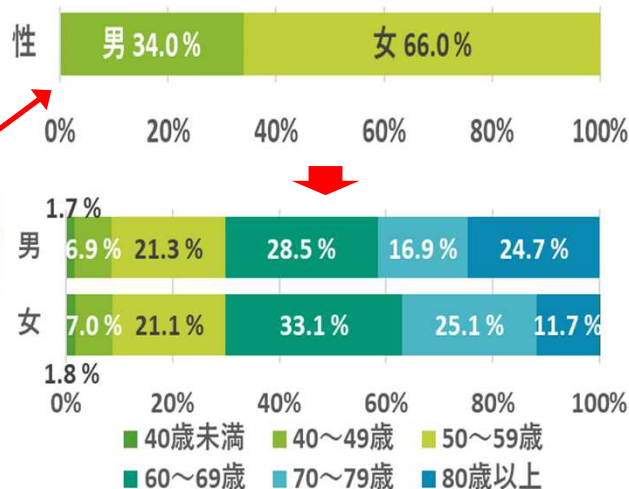
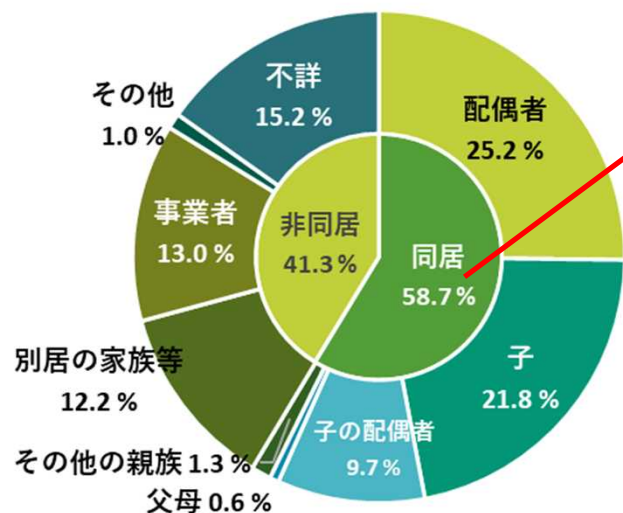
◆ 65歳以上の者の世帯構造別構成割合の推移（全国）



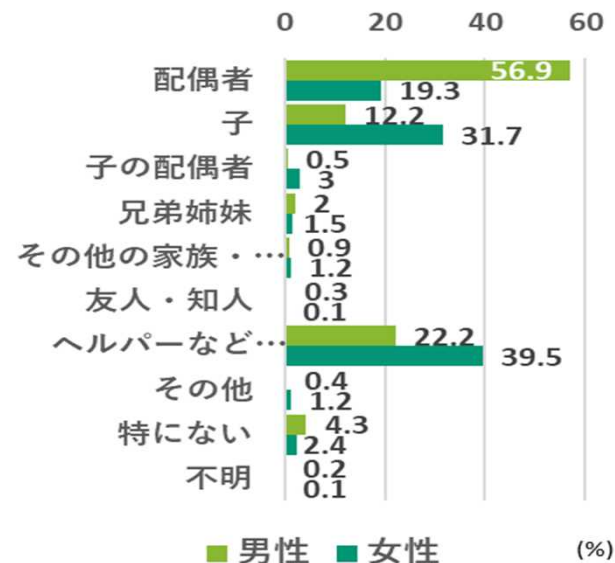
出典 国民生活基礎調査

高齢者の介護

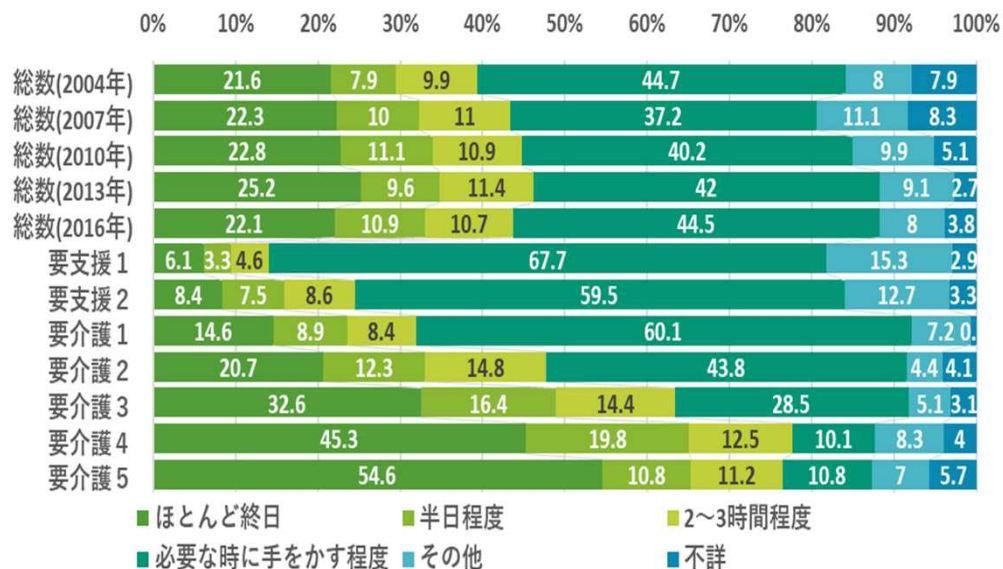
◆要介護者等からみた主な介護者の続柄



◆必要になった場合の介護を依頼したい人



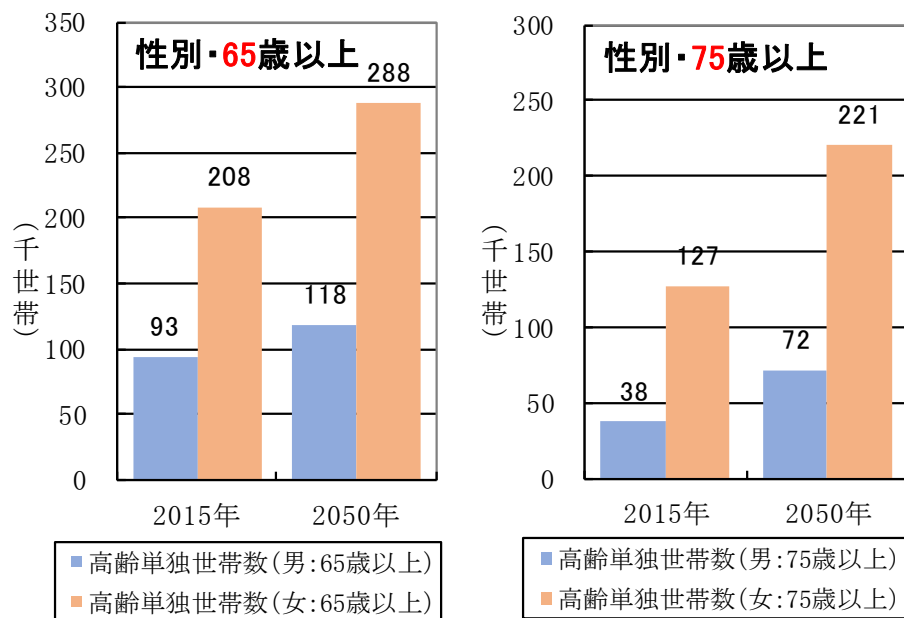
◆同居している主な介護者の介護時間（要介護者の要介護度別）



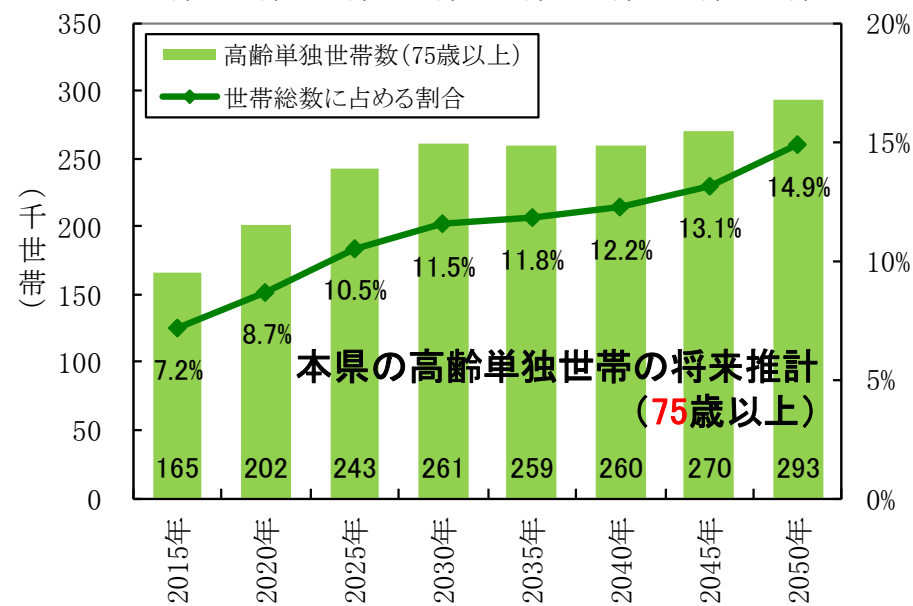
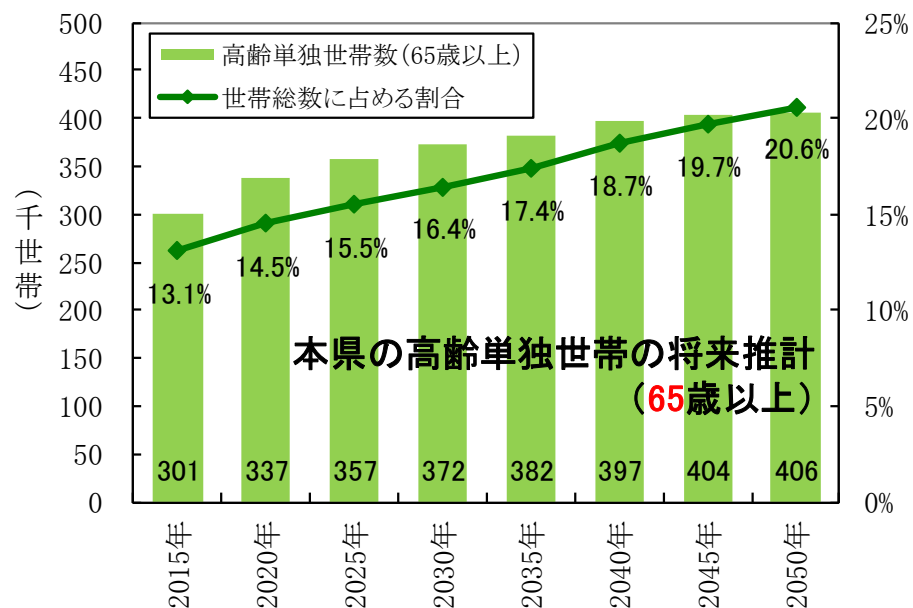
- 親等に介護が必要になった場合の主な介護者は、6割弱が同居している家族。配偶者が25.2%、子が21.8%、子の配偶者が9.7%を占める。
- 主な介護者の年齢は、男性で70.1%、女性では69.9%が60歳以上であり、いわゆる「老老介護」が相当数存在
- 1日のうち介護に要している時間を見ると、「必要な時に手をかす程度」が44.5%と最も多い一方で、「ほとんど終日」も22.1%に上る。
- 「誰に介護を頼みたいか」については、男性は「配偶者」が56.9%、女性は「ヘルパーなど介護サービスの人」に次いで「子」が31.7%を占め、家族に依頼したい人の割合が高い。特に妻の力を当てにしている夫の多さは大きな特徴

高齢単独世帯の増加

○ 高齢単独世帯が今後大きく増加
 ・特に75歳以上の単独世帯は2050年までに男性で1.9倍、女性で1.7倍に
 ◆一人暮らしの高齢者を「孤独」にしないための見守りや支え合いの仕組みの構築が必要



(千世帯)		単独世帯数		2015→50年増分	
		2015年	2050年	実数	比率
65歳以上	男	93	118	+25	126%
	女	208	288	+80	138%
75歳以上	男	38	72	+34	191%
	女	127	221	+94	173%

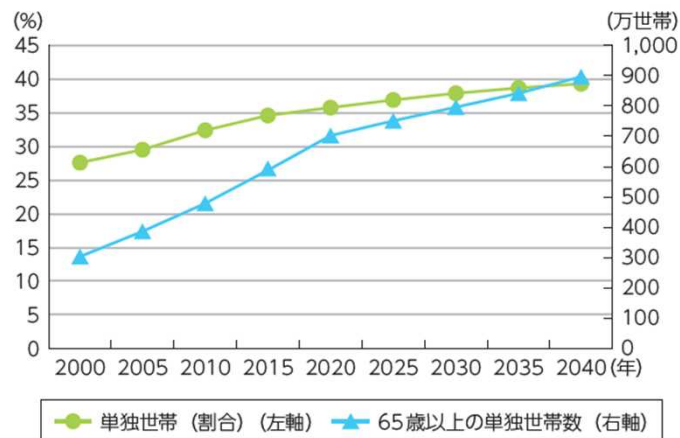


出典 兵庫県の子世帯数の将来推計(2015~65年)
 [2020年3月 兵庫県ビジョン課]

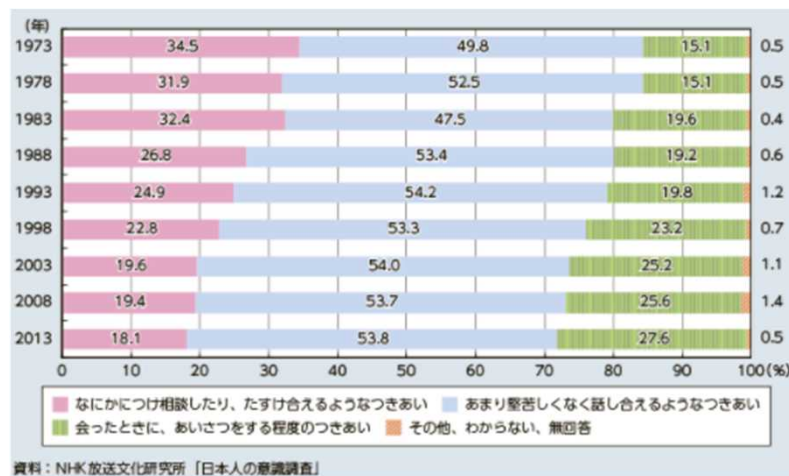
高齢者の見守り・支え合い

- 単身高齢者が大きく増加。隣近所との助け合いなど濃い関係を望む人は減少
- 支えあいマップにより、孤立している人を可視化する取組が行われている。

単独世帯率の推移と65歳以上の単独世帯数の推移



隣近所との望ましい付き合い方



【支えあいマップづくり】 出典 平成30年度版情報通信白書

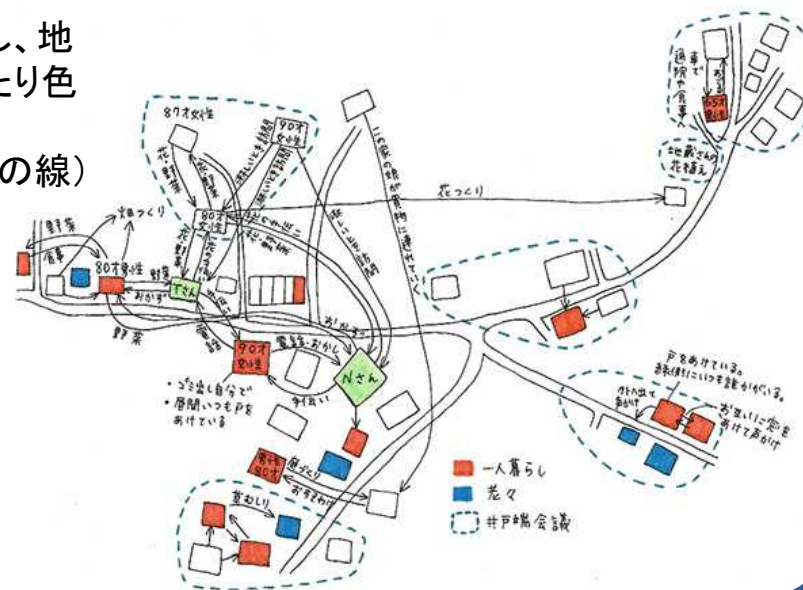
地域の実情や、そこに住んでいる人の状況を住民自身が把握し、地図に記載していく。誰と誰が関わっているということ線を引いたり色を塗る。

(おすそ分け線、お茶飲み友達線、防災協力隊の線、体操教室の線) つながっている情報を一枚の紙に集約することで、**線が少ない人(関わり合いが少ない人)を可視化**することができる。

【課題】

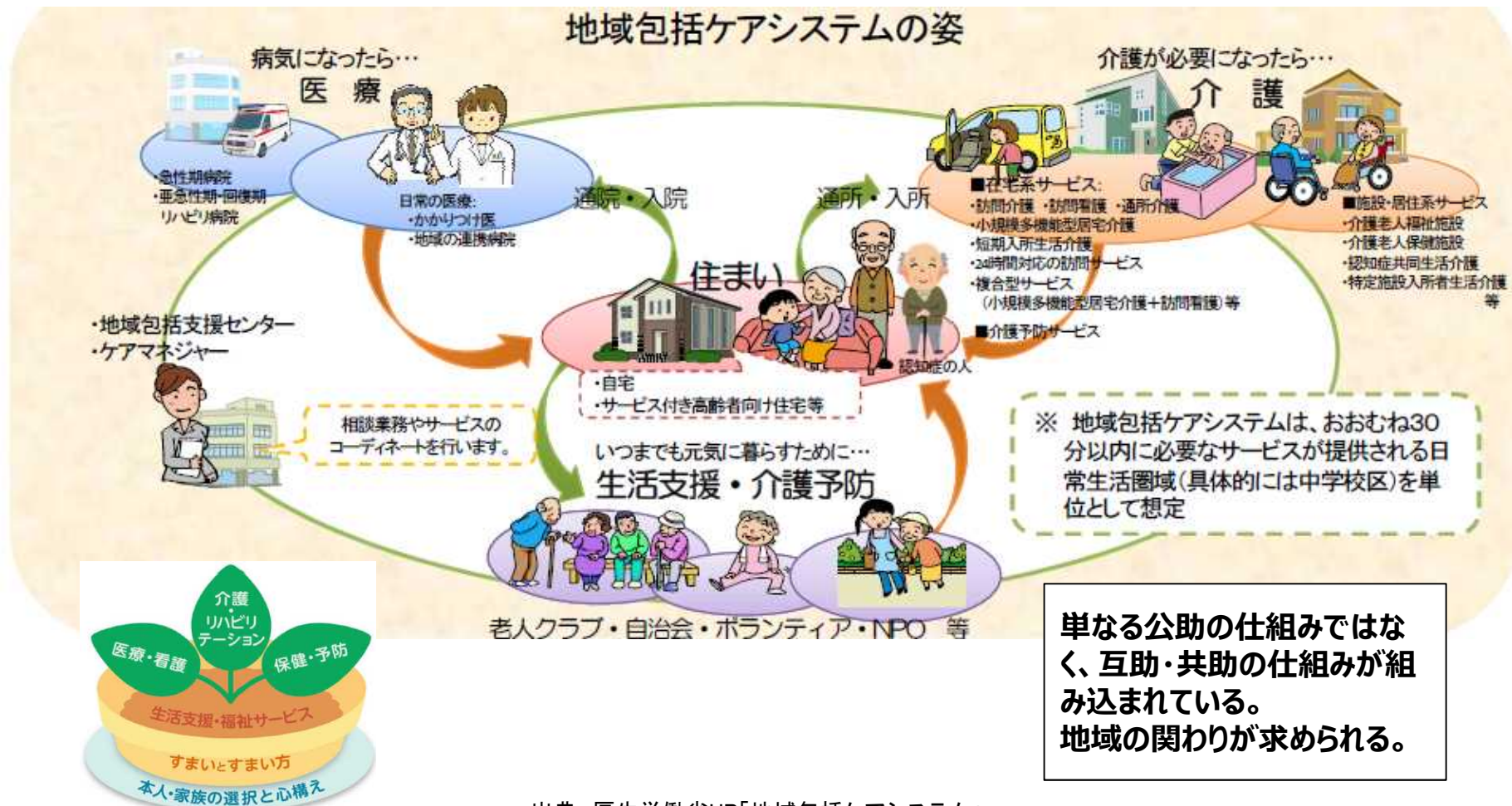
- その地区の世帯すべてをカバーすること
- 個人情報に関係で連絡先が分からない
- つながりの薄い人を見つけるだけで、孤立を解決するためマンパワーが必要

出典 墨田区社会福祉協議会、北海道町内会連合



地域包括ケアシステム

- 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される支援・サービス提供体制
- 自助を基本に、互助・共助・公助の順で取り組んでいくことが必要とされている。



出典 厚生労働省HP「地域包括ケアシステム」